



2025年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年2月14日

上場会社名 株式会社フジタコーポレーション
コード番号 3370 URL <https://www.fujitacorp.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠藤 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 清水 清作

TEL 0144-34-1111

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	3,651	6.7	76	4.0	81	9.8	40	11.3
2024年3月期第3四半期	3,423		79		89		46	

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 41百万円 (13.1%) 2024年3月期第3四半期 48百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	11.55	
2024年3月期第3四半期	13.08	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	2,824	181	6.4
2024年3月期	2,848	139	4.9

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 181百万円 2024年3月期 139百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		0.00	0.00
2025年3月期		0.00			
2025年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,957	8.0	131	40.2	140	10.2	105	101.2	30.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	3,413,300 株	2024年3月期	3,413,300 株
期末自己株式数	2025年3月期3Q	79 株	2024年3月期	79 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	3,413,221 株	2024年3月期3Q	3,413,221 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、物価上昇及び価格転嫁が継続しており、また、円安傾向や世界情勢の不安定による影響もあり、先行き不透明な状況であります。

当社グループが属する飲食・小売、製造・卸売及び農畜産業におきましては、原材料及び光熱費等の度重なる値上りの影響が非常に大きく、また、慢性的な労働力不足も解消には至らず、大変厳しい経営環境で推移しております。

このような状況のもと当社グループにおきましては、中期経営計画に基づいて不採算店舗及び事業からの撤退が概ね完了し、高収益が見込める業態については慎重に検討を重ねたうえ、新規出店、譲受出店、大規模改装及び新規事業への参入を進めることとしており、当第3四半期連結累計期間において飲食店舗2店舗の出店及び5店舗の大規模改装を実施いたしました。

当第3四半期連結会計期間末における当社グループの飲食・小売部門の稼働店舗数は48店舗、製造・卸売部門1拠点、農畜産部門1拠点であります。当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高3,651,257千円（前年同期比6.7%増）となったものの、原材料及び人件費等の主要コストの高騰の影響が大きく、営業利益76,389千円（同4.0%減）、経常利益81,067千円（同9.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益40,930千円（同11.3%減）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

a. 飲食・小売部門

当第3四半期連結累計期間における飲食・小売部門におきましては、フランチャイジー事業はフランチャイズ本部主導の新商品の投入や販売促進活動を、オリジナルブランド事業は期間限定商品の開発及び販売を継続し、スマートフォンのアプリやLINE等及び店頭にて特定商品を訴求することで客単価増やリピート顧客の獲得に努めてまいりました。

飲食・小売部門の当第3四半期連結累計期間の売上高は3,211,692千円（前年同期比8.0%増）、セグメント利益116,615千円（同1.7%増）となりました。

b. 製造・卸売部門

当第3四半期連結累計期間における製造・卸売部門におきましては、衛生管理に最大限の注意を払いつつ、製造数の達成目標を掲げ、効率的な製造スケジュールの策定・遂行や、新たな商品の開発・販売及び新規取引先の開拓による販路拡大の双方で収益の最大化に努めてまいりました。

製造・卸売部門の当第3四半期連結累計期間の売上高は284,505千円（前年同期比8.2%減）、セグメント利益1,185千円（同19.8%減）となりました。

c. 農畜産部門

当第3四半期連結累計期間における農畜産部門におきましては、乳牛購入を段階的に行って頭数増加と並行して栄養管理や牛舎環境を改善し、搾乳量の向上と牧草の自社栽培等によるコスト削減に努めてまいりました。

農畜産部門の当第3四半期連結累計期間の売上高は155,058千円（前年同期比10.9%増）となったものの、飼料価格の高止まりや光熱費高騰の影響により、セグメント損失30,114千円（前年同期 セグメント損失24,359千円）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は728,336千円となり、前連結会計年度末に比べ126,227千円減少いたしました。これは主に売掛金が32,330千円増加したものの、現金及び預金が186,895千円減少したこと等によるものであります。固定資産は2,096,097千円となり、前連結会計年度末に比べ101,758千円増加いたしました。これは主に無形固定資産が12,421千円、投資その他の資産が8,537千円それぞれ減少したものの、有形固定資産のうち建物及び構築物が95,755千円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は2,824,434千円となり、前連結会計年度末に比べ24,468千円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は831,580千円となり、前連結会計年度末に比べ94,749千円増加いたしました。これは主に短期借入金が14,052千円減少したものの、1年内返済予定の長期借入金が83,474千円、未払法人税等が11,750千円増加したこと等によるものであります。固定負債は1,811,520千円となり、前連結会計年度末に比べ161,123千円減少いたしました。これは主に長期借入金が155,612千円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は2,643,100千円となり、前連結会計年度末に比べ66,373千円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は181,333千円となり、前連結会計年度末に比べ41,904千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益40,930千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は6.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想につきましては、原材料及び光熱費等の値上がりが継続する場合は、当社グループの業績に多大な影響を及ぼすことが予想されます。それらの安定の見通しなどの未確定な要素が多いものの、締結済の契約内容の見直しを含む各種コストの削減を継続し、利益最大化に努めてまいります。

なお、連結業績予想につきましては、2024年5月15日の「2024年3月期 決算短信」で公表しました通期の業績予想に変更はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、営業利益76,389千円、親会社株主に帰属する四半期純利益40,930千円を計上している一方で、有利子負債が2,114,212千円と負債純資産の74.9%を占め、手元流動性に比して高水準にあるため、一部の取引金融機関から返済条件の緩和を継続して受けている状況にあります。これにより、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社グループは、当該重要事象等を解消すべく、事業面及び資金面において対応策を講じております。

事業面におきましては、店舗において期間限定商品やサービスの訴求、スマートフォンのアプリやLINE等を使用した効率的な販売促進活動による収益確保と販売管理費等のコスト削減を両立し、収益力の強化に努めてまいります。当社グループのオリジナルブランドであり、フランチャイザーとして加盟店展開しております「かつてん」の積極的な加盟開発及び加盟店出店を進め、フランチャイザー事業を当社グループの収益の柱となる事業へと成長させてまいります。また、飲食・小売事業、製造・卸売事業に共通する原材料・消耗品をはじめとする全社的なコスト削減活動を継続してまいります。さらには、「食」に関連する事業展開につきましても、サステナビリティを意識しつつ、収益拡大に向けた取引先の新規開拓、ネット通販等の対面以外の販路の充実や海外での事業活動開始に向けた調査・トライアル販売にも着手しており、より多くのチャネルでの販売活動を行ってまいります。

資金面におきましては、これまで長期借入金元本の返済条件緩和を取引金融機関に要請し、同意を得て返済しておりましたが、取引金融機関と取引正常化に向けた取り組みを行った結果、一部の取引金融機関と取引正常化することとなり、財務基盤の強化及び今後の成長投資に向けた資金調達を目的として、2024年9月に取引銀行1行と資金の借入(借換)及び当座貸越契約を締結いたしました。その他の取引金融機関につきましては、長期借入金元本の返済条件緩和を継続することで同意を得ておりますが、今後もすべての取引金融機関との取引正常化に向けて活動を継続し、財務体質の改善を図ってまいります。

これらの具体的な対応策を実施することにより、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	514,858	327,963
売掛金	190,532	222,862
商品及び製品	25,112	21,938
仕掛品	11,143	8,830
原材料及び貯蔵品	57,996	87,575
その他	54,920	59,166
流動資産合計	854,564	728,336
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	731,441	827,196
機械装置及び運搬具(純額)	11,289	9,146
土地	426,518	428,228
建設仮勘定	5,170	528
その他(純額)	115,621	147,658
有形固定資産合計	1,290,041	1,412,758
無形固定資産		
のれん	60,771	49,376
借地権	140,000	140,000
その他	9,219	8,192
無形固定資産合計	209,991	197,569
投資その他の資産		
投資有価証券	59,707	59,504
敷金及び保証金	413,410	405,197
その他	51,212	51,090
貸倒引当金	△30,024	△30,024
投資その他の資産合計	494,305	485,768
固定資産合計	1,994,338	2,096,097
資産合計	2,848,903	2,824,434

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	92,812	105,611
短期借入金	249,209	235,157
1年内返済予定の長期借入金	81,674	165,148
リース債務	2,853	3,822
未払金	179,304	173,737
未払法人税等	26,453	38,204
店舗閉鎖損失引当金	3,505	698
資産除去債務	800	8,245
その他	100,216	100,954
流動負債合計	736,830	831,580
固定負債		
長期借入金	1,846,257	1,690,644
リース債務	13,941	16,228
繰延税金負債	1,134	1,560
資産除去債務	16,914	16,079
その他	94,396	87,007
固定負債合計	1,972,643	1,811,520
負債合計	2,709,474	2,643,100
純資産の部		
株主資本		
資本金	889,985	889,985
資本剰余金	549,534	549,534
利益剰余金	△1,302,697	△1,261,766
自己株式	△53	△53
株主資本合計	136,768	177,699
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,589	3,563
その他の包括利益累計額合計	2,589	3,563
非支配株主持分	70	70
純資産合計	139,428	181,333
負債純資産合計	2,848,903	2,824,434

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	3,423,337	3,651,257
売上原価	1,448,815	1,498,840
売上総利益	1,974,522	2,152,416
販売費及び一般管理費	1,894,931	2,076,027
営業利益	79,590	76,389
営業外収益		
受取利息	153	153
受取配当金	951	1,113
不動産賃貸料	108,606	108,096
その他	24,817	29,933
営業外収益合計	134,527	139,297
営業外費用		
支払利息	36,214	34,798
不動産賃貸原価	86,888	87,149
その他	1,136	12,670
営業外費用合計	124,238	134,618
経常利益	89,878	81,067
特別利益		
固定資産売却益	—	181
店舗閉鎖損失引当金戻入額	—	866
資産除去債務戻入益	80	2,190
特別利益合計	80	3,239
特別損失		
固定資産除却損	8,980	11,213
店舗閉鎖損失	17,725	2,118
店舗閉鎖損失引当金繰入額	1,060	—
貸倒引当金繰入額	3,200	—
特別損失合計	30,966	13,332
税金等調整前四半期純利益	58,992	70,975
法人税、住民税及び事業税	12,850	30,044
法人税等合計	12,850	30,044
四半期純利益	46,141	40,930
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	46,141	40,930

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	46,141	40,930
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,053	973
その他の包括利益合計	2,053	973
四半期包括利益	48,195	41,904
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	48,195	41,904
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。これによる前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

当社及び連結子会社においては、成長投資等に向けた機動的な資金調達を目的として、取引銀行1行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
当座貸越極度額	一千円	100,000千円
借入実行残高	—	—
差引額	—	100,000

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	飲食・小売	製造・卸売	農畜産	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	2,973,507	310,007	139,823	3,423,337	—	3,423,337
外部顧客への売上高	2,973,507	310,007	139,823	3,423,337	—	3,423,337
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	703	703	△703	—
計	2,973,507	310,007	140,527	3,424,041	△703	3,423,337
セグメント利益又は損失(△)	114,678	1,477	△24,359	91,797	△12,206	79,590

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主としてのれんの償却額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	飲食・小売	製造・卸売	農畜産	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	3,211,692	284,505	155,058	3,651,257	—	3,651,257
外部顧客への売上高	3,211,692	284,505	155,058	3,651,257	—	3,651,257
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	1,721	1,721	△1,721	—
計	3,211,692	284,505	156,780	3,652,978	△1,721	3,651,257
セグメント利益又は損失(△)	116,615	1,185	△30,114	87,685	△11,296	76,389

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主としてのれんの償却額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
減価償却費	91,631千円	99,146千円
のれんの償却額	12,121	11,394